



女性の健康 Women's Health

ICNの所信：

女性は、健康と安寧を享受する権利を有している。しかし、貧困や男女間の不公平な力関係、保健医療へのアクセスの不足、教育の不備、様々な社会的・経済的・政治的・文化的要因が、世界中の何百万という女性の健康に悪影響を与えている。

国際看護師協会（ICN）は、「国連特別総会『国連・女性 2000 年会議（北京+5）』」¹、「健康の社会的決定要因委員会最終報告書」²及び「女性と子どもの健康の実現に向けたグローバル戦略」³において提出された保健関連の案件を支持し、これらの戦略が女性の健康に関する基本的権利に大きく貢献するものと確信している。

ICN は、性的搾取及び売春を目的とした女性と少女の人身売買及び女性性器切除を含む女性に対するあらゆる形態の暴力を非難する。ICN は、安定した性的パートナーをもつ女性を含め、女性における HIV 感染の増加をとくに懸念している。

ICN は、ジェンダーに基づく差別と女性の人権侵害という形をとった、女性に対する暴力に対処する効果的な法的枠組みを制定し、施行することを支持する⁴。

ICN は、政府や関係者に対して、母子の死亡率・罹患率が容認できないレベルにあることへの対策として、性と生殖に関する健康に関連する情報とサービス及び、適切でアクセス可能な妊産婦ケアの提供を優先課題とすることを強く要請する⁵。

ICN は、ジェンダー間の公平および、公的・私的生活における女性の教育とエンパワメントを促進し、権限や地位、役割における不平等の解消に向けた抜本的な社会改革を支持する。

ICN は、女性の苦難の大半は社会・行動・文化システムに由来するという事実を考慮して、疫学調査や研究、意思決定、サービスの企画立案、ケア提供など、健康に関するあらゆる課題においてジェンダー・メインストリーミング（訳注：男女平等の考え方を政策やシステムに取り入れるという概念）に賛同する⁶。

¹国連特別総会『国連・女性 2000 年会議（北京+5）』 <http://www.un.org/womenwatch/daw>

² 健康の社会的決定要因委員会最終報告書

http://www.who.int/social_determinants/final_report/csdh_finalreport_2008.pdf

³ 女性と子どもの健康にむけたグローバル戦略

http://www.who.int/pmnch/topics/maternal/201009_globalstrategy_wch/en/index.html

⁴ UNDAW/DESA and UNODC 専門家グループ

[http://www.un.org/womenwatch/daw/egm/vaw_legislation_2008/Report%20EGMGPLVAW%20\(final%2011.11.08\).pdf](http://www.un.org/womenwatch/daw/egm/vaw_legislation_2008/Report%20EGMGPLVAW%20(final%2011.11.08).pdf)

⁵ 健康の社会的決定要因委員会最終報告書

http://www.who.int/social_determinants/final_report/csdh_finalreport_2008.pdf

⁶ WHO ジェンダー、女性と健康

<http://www.who.int/gender/mainstreaming/en/index.html>

ICN は、アクセスが容易で、女性のライフサイクルの各段階におけるニーズに応え、保健医療と健康教育を統合して幅広く提供するサービスの構築を強く支持する。

ICN は、優れた知識・技能を持つ保健医療専門家であり大多数が女性である看護師が、女性にとって最良の擁護者であり保健医療提供者であると考え。各国看護師協会と看護師は、女性の健康に関する保健政策やサービスの企画・立案、実践の開発、調査研究において、貢献が可能であり、また、貢献すべきである。

背景

世界の全ての国と主要な開発機関によって合意された青写真であるミレニアム開発目標は、明確に、ジェンダー平等推進、女性の地位向上及び妊産婦の健康状態の改善と幼児死亡率の引き下げを目標としている⁷。

女性の健康とは、ライフサイクルを通じた身体的・精神的・社会的な安寧を包含するものであり、子どもと家族の健康に直接的に影響を及ぼす。

世界の最も貧しい 10 億人のうち、女性と女兒がその 60% を占める。世界の文字の読めない 9 億 6 千万人の成人のうち、女性が 3 分の 2 を占める。世界の未就学児 1 億 3 千万人のうち、女兒が 70% を占める。貧困状態にある女性ほど特に、悪しき伝統と文化に縛られており⁸、妊産婦死亡、疾病や障害のリスクが、より高くなっている。

女性は男性より長寿である。女性は、あらゆる地域で高齢者人口の過半数を占め、世界の高齢者人口合計の約 55% を構成し、60 歳以上の女性は約 6 千 300 万人と同年代の男性よりはるかに多い⁹。

健康と幸福に対する女性の権利は、一生を通じて保護されなければならないが、とくに脆弱である児童期と思春期には、教育と健康、社会的支援を享受する権利がとりわけ重要である。生殖期にある女性は、健康へのアクセスとリプロダクティブ・ヘルス・ライツ（性と生殖に関する健康権）を自己コントロールする力が必要である。

様々なサービスへのアクセスの欠如や社会経済的地位の低さ、暴力や性的虐待などの女性の権利侵害を容認するような社会的価値観のために、女性における HIV/AIDS の流行は加速し続けている。女性は、世界の約 3 千 400 万人の HIV 感染者の 50% に相当する¹⁰。

⁷国連：2015 年までに私たちは貧困を終らせる：ミレニアム開発目標

<http://www.un.org/millenniumgoals/bkgd.shtml>

⁸国連人口基金

http://www.unfpa.org/swp/2008/includes/images/pdf_swp/05_poverty_inequality.pdf

⁹ 国連、世界の女性 2010：傾向と統計

http://unstats.un.org/unsd/demographic/products/Worldswomen/WW_full%20report_BW.pdf

¹⁰ UNAIDS 世界エイズデー 2011 報告

http://www.unaids.org/en/media/unaids/contentassets/documents/factsheet/2011/20111121_FS_WAD2011_global_en.pdf

看護師は、女性が自己の生活と生活条件をコントロールする力を高めるうえで、重要な影響を与えることができる。

看護師は、看護教育者や看護管理者を含め、ジェンダーに関する問題や現象に対する鋭敏な感受性と権利に関する正式な教育・訓練を受け、疫学調査や意思決定、サービス計画など様々な活動をジェンダーの視点から吟味・監視・評価する技能を獲得する必要がある。

1996年採択

2002年・2012年改訂

関連ICN所信声明：

- 女性性器切除の撤廃
- 看護職員に対する虐待および暴力
- 母乳代用品の配布と利用
- 母乳哺育
- 看護と開発
- 高齢者の看護ケア

関連ICN出版物：

- Nursing Matters, Female Genital Mutilation(FGM)
- Nursing Matters, The Girl Child
- Nursing Matters, Maternal and Infant Nutrition
- Nursing Matters, Women's Health
- Nursing Matters, Women and Stroke
- Nursing Matters, Equal Opportunity: Gender Issues
- Nursing Matters, Mainstreaming a Gender Perspective into Health Services
- Nursing Matters, Osteoporosis: The Silent Thief
- Nursing Matters, Nutrition and Older People
- Nursing Matters, Violence: A World-wide Epidemic
- Nursing Matters, ICN on Poverty and Health: Breaking the Link
- Anti-violence Toolkit

2012年（公・社）日本看護協会訳

* 文書中の「看護師」とは、原文では nurse(s)であり、訳文では表記の煩雑さを避けるために「看護師」という訳語を当てるが、免許を有する看護職すべてを含むものとする。

* ICN 所信声明の著作権は、国際看護師協会(ICN)にあり、ICN の許可のもとに、(公・社) 日本看護協会が日本語訳を作成しました。許可の無い商業目的での使用を禁止します。